

<http://www.shimamoto-ele02.ed.jp>

二小学校だより

～自他を大切にし、
自律的にものごとを考え、
行動できる子ども～



令和2年8月17日(月)
島本町立第二小学校
島本町東大寺四丁目167番地
校長 辻本 堅二
TEL 961-1195
FAX 961-1196

私たちにとっての「最強の武器」とは・・・
～敬意を払い、尊重できる柔軟な素直な心～

いつもより短い夏休みが終わり、本日から2学期がはじまります。児童のみなさんは充実した夏休みを過ごせたでしょうか。夢中になったこと、お家やホームで続けることができたお手伝い、最後までやり遂げたことは何でしょうか。ぜひ友だちや先生に教えてください。

8月28日(金)までは午前中授業ですが、まだまだ厳しい暑さが続きます。水分補給や適切なマスクの使用を心がけて熱中症対策や感染予防を行い、体調管理をしっかりしてほしいと思います。

さて、戦後75年を迎えた今年も、6月23日の沖縄慰霊の日をはじめ、夏休みには8月6日、9日、15日前後の新聞やテレビでは、戦争や平和の問題がとりあげられました。

では、戦争はどのようにして起こるのでしょうか。歴史を読み解いていくと、事情や経緯に違いはありますが、様々なキーワードが見えてきます。自国の欲、他国への不信、主義主張の押し付け、支配、社会制度の機能不全、大地の荒廃、人の心の破壊・・・

そして、戦争は人の心にも起こります。自分の方が得をしようとする欲を出し、自分の価値観を認めない人を排除しようとする画策し、相手を非難し陥れようとする。それが、「心の戦争」です。心の戦争はわが身可愛さゆえの嫉妬や逆恨みや損得といった負の感情から生み出されます。負の感情は、心の中を醜い葛藤でドロドロにし、疑心暗鬼や不信感が仮想の敵をつくりだします。

しかし、心の中で戦争をしたところで、悶々と苦悩しているのは自分ひとりです。心の中で闘っている相手は、痛くもかゆくないどころが、結局自分だけが信頼を失う羽目になるのです。

与え合えば、感謝が生まれます。交換し合えば、公正な取引になります。信頼し合えば、友情が芽生えます。認め合えば、絆が深まります。尊敬し合えば、道が開けます。他人の立場や考え方に敬意を払い、尊重できる柔軟で素直な心こそ私たちにとって最強の武器になるはずです。

様々な制限が求められる新しい生活様式の中で、「自律的にものごとを考え、行動できる」ことが必要です。こんなときだからこそ、仮想の敵をつくり心の戦争にならないように、私たちの最強の武器を使ってあたたかくて柔らかな空間をつくっていききたいものです。

(校長 辻本堅二)

◎今般、金属製容器に粉末清涼飲料水を溶かして長時間保管することで、金属の溶出に伴う食中毒事例が発生しています。酸性の飲料(主に炭酸飲料・乳酸菌飲料・果汁飲料・スポーツ飲料等)を入れる容器につきましては「内部にさびや傷がないか」確認し、「長時間、金属製の容器に保管しない」「古くなった容器は、定期的に新しいものに交換する」など、注意をお願いします。

◎熱中症予防のため、屋外(登下校を含む)でのマスクは、ソーシャルディスタンスを保って、適宜外すよう指導しています。ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。